

世界史

I 次の文章を読んで、下記の設問（問1～問8）に答えなさい。

中国の^(A)周の時代（西周・東周）、前4世紀に秦は^(B)商鞅を採用して政治改革をすすめ、1のなかでも有力な国となった。前3世紀半ばに即位した秦王の政（始皇帝）は、前221年に中国を統一して、「王」をこえる「皇帝」の称号をつくりだした。始皇帝は、^(C)李斯の政策を採用し、地方統治では2を全国で施行して、文字・度量衡・貨幣などを統一し、幹線道路を建設した。しかし、大規模な土木工事や外征は一般民への苛酷な負担となり、秦に征服された東方地域の反発を招いた。始皇帝の死後、^(D)中国史上初の農民反乱をきっかけに各地で反乱がおり、混乱の中で秦は滅亡した。

秦滅亡後の勢力争いで、農民出身の劉邦（高祖）が楚の名門出身の3に勝ち、前202年に漢を建国して、長安を都とした（前漢）。高祖は、秦の統治において反発を招いた2を直轄地に限定し、東方地域を中心に4を復活させて、一族や功臣などを諸侯（諸侯王）とした。しかし、その後の皇帝が徐々に諸侯の力を抑制しようとしたため、諸侯勢力は反発し、前154年には大規模な反乱である5に発展した。景帝はこれを鎮圧し、中央集権体制が強化された。

前141年に即位した武帝は、^(E)多くの対外戦争をおこなったため、国家財政が圧迫されるようになった。そのため、増税や貨幣の改鑄、6の専売制などによって、財政の回復をはかるとともに、均輸・平準などの経済統制策をすすめたが、効果は上がらなかった。このころから、有力者は大土地経営によって富をたくわえて豪族となり、地方長官の推薦による官吏登用法である7により、地方や中央の官僚となった。一方で貧富の差は拡大し、集落の秩序がくずれ、社会不安が広がっていった。

前1世紀半ばになると、官僚や、皇后の一族である外戚、皇帝の側近である宦官らの争いがおきて中央政治が混乱した。後8年には、^(F)王莽が漢から帝位を奪って8を建国した。しかし、現実を無視した王莽の政策は社会に混乱を招き、各地で農民反乱がおり、この王朝は滅んだ。

前漢の景帝の子孫である^(G)劉秀（光武帝）は、豪族たちの支持を受けて25年に漢を復興し、洛陽を都とした（後漢）。光武帝は、外戚や宦官をおさえ、^(H)儒学を取り入れて皇帝中心の政治をすすめるとともに、荒廃した農村の復興につとめた。豪族らは農業の再建に力をそそぎ、社会は彼らを中心とした新しい秩序を形成した。

1世紀末になると、幼い皇帝が続き、ふたたび勢力をのばした宦官や外戚が対立した。また、官僚も党派をつくって宦官と対立した。こうした情勢は、宦官による官僚・学者への大弾圧である党錮の禁に発展し、政治を混乱させた。さらに、飢饉があいつぎ、社会不安が広がるなか、迷信や民間信仰にすがる農民が増加した。宗教結社を主体とする農民反乱である9がおきると、各地で軍事集団が勢力を争うようになり、220年に後漢は滅亡した。

問1 空欄 1 ～ 9 に入れるのに適当な語句を以下の語群から1つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- | | | |
|---|----------|----------|
| 1 | ① 春秋の五覇 | ② 戦国の七雄 |
| | ③ 五胡十六国 | ④ 五代十国 |
| 2 | ① 郡県制 | ② 郡国制 |
| | ③ 州県制 | ④ 封建制 |
| 3 | ① 項羽 | ② 蘇秦・張儀 |
| | ③ 孫権 | ④ 陳勝・呉広 |
| 4 | ① 郡県制 | ② 郡国制 |
| | ③ 州県制 | ④ 封建制 |
| 5 | ① 安史の乱 | ② 呉楚七国の乱 |
| | ③ 三藩の乱 | ④ 八王の乱 |
| 6 | ① 砂糖・茶・酒 | ② 砂糖・鉄・茶 |
| | ③ 塩・茶・酒 | ④ 塩・鉄・酒 |
| 7 | ① 科举 | ② 九品中正 |
| | ③ 郷挙里選 | ④ 殿試 |
| 8 | ① 新 | ② 蜀 |
| | ③ 齊 | ④ 宋 |
| 9 | ① 黄巾の乱 | ② 赤眉の乱 |
| | ③ 太平天国の乱 | ④ 李自成の乱 |

問2 下線部(A)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 10

- ① 殷を倒し、鎬京を都として華北を支配した。
- ② 洛邑に都を移した後、有力諸侯は周王の権威のもと諸国の主導権を握った。
- ③ 華北では、騎馬遊牧民によってたてられた諸国が覇権を争った。
- ④ 諸国間の抗争が激化して、周王を無視して王を称する諸侯が増え、統一的な秩序はくずれた。

問3 下線部(B)と(C)に関して、両者と同じ学派に分類される人物を次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 11

- ① 莊子
- ② 孫子
- ③ 屈原
- ④ 韓非

問4 下線部(D)に関して、この反乱の指導者のことばを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 12

- ① 「滅満興漢」
- ② 「知行合一」
- ③ 「蘇湖（江浙）熟すれば天下足る」
- ④ 「王侯将相いずくんぞ種（家柄）あらんや」

問5 下線部(E)に関して、武帝期の対外戦争の相手を次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 13

- ① 契丹
- ② 匈奴
- ③ 大月氏
- ④ 突厥

問6 下線部(F)に関して、この人物はどのような立場から権力を握ったのか。正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 14

- ① 外戚
- ② 宦官
- ③ 皇后
- ④ 郷紳

問7 下線部(G)に関して、光武帝の治世に使節を派遣したとされる君主を次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 15

- ① 冒頓単于
- ② 大秦王安敦
- ③ 倭王卑弥呼
- ④ 倭奴国王

問8 下線部(H)に関連する人物を時代順に正しく配列したものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。

16

- ① 孔子 → 董仲舒 → 孟子
- ② 孔子 → 孟子 → 董仲舒
- ③ 孟子 → 董仲舒 → 孔子
- ④ 孟子 → 孔子 → 董仲舒

Ⅱ 次の文章を読んで、下記の設問（問1～問7）に答えなさい。

(A) イスラーム教は、10世紀頃から中央アジアのトルコ人へ浸透していった。17が創建し、13世紀にユーラシア大陸を席卷したモンゴル帝国においても、西方に成立した諸ハン国では、支配層のモンゴル人がイスラーム教へと改宗していくこととなる。

14世紀半ば、諸ハン国のひとつである中央アジアの18国が東西に分裂して争うなか、ティムールが台頭した。彼は(B)サマルカンドを都として1370年に王朝を開いた。また、西進してイル＝ハン国滅亡後の19を併合した。さらに、北インドの(C)デリー＝スルタン朝と戦って領土を拡大し、(D)マムルーク朝やオスマン帝国へも遠征して大きな戦果をあげた。ティムール朝では、トルコ＝イスラーム文化が発展し、建築・文芸・学問などの分野で高度な文化が花開いた。

16世紀初頭、ティムールの子孫であるバーブルが、デリー＝スルタン朝の最後の王朝となるロディー朝を破り、インドに20を築いた。第3代君主の21は、北インド全体に領域を拡大して、支配階層の組織化をはかり、中央集権化をすすめた。デリーから22に都を移したのも、この時代である。また、彼はイスラーム教徒とインドの民衆の多数を占める23教徒との融合をはかって、支配基盤を固めようとした。自ら23教徒の女性を妻とし、非イスラーム教徒に課されていた人頭税である24を廃止した。第5代君主シャー＝ジャハーンの時代には、インドの伝統文化とイスラーム文化が融合した(E)インド＝イスラーム文化の黄金期を迎えた。

しかし、イスラーム教の厳格な信者であった第6代君主の25は、他宗教に不寛容な政策をおこなった。彼は、非イスラーム教徒への人頭税を復活し、イスラーム教に改宗しない異教徒に対して厳しい弾圧を加えた。この時代に領土は最大となったが、強圧的な政策は、ラージプート諸侯やマラーター王国との抗争、さらには(F)シク教の信徒らの反乱を招いた。

問1 空欄17～25に入れるのに適当な語句を以下の語群から1つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- | | | |
|--|------------|------------|
| 17 | ① チングス＝ハン | ② フビライ |
| | ③ 耶律阿保機 | ④ 完顔阿骨打 |
| 18 | ① クリム＝ハン | ② コーカンド＝ハン |
| | ③ チャガタイ＝ハン | ④ ヒヴァ＝ハン |
| 19 | ① イラン | ② エジプト |
| | ③ マグリブ | ④ ロシア |
| 20 | ① ウマイヤ朝 | ② マウリヤ朝 |
| | ③ マジャパヒト王国 | ④ ムガル帝国 |
| 21 | ① アショーカ王 | ② アクバル |
| | ③ アッバース1世 | ④ アリー |

- | | | |
|----|------------|-----------|
| 22 | ① アグラ | ② コルドバ |
| | ③ ダマスクス | ④ マリンディ |
| 23 | ① キリスト | ② ヒンドゥー |
| | ③ 仏 | ④ ユダヤ |
| 24 | ① ウンマ | ② ジズヤ |
| | ③ ハラージュ | ④ マワーリー |
| 25 | ① アウラングゼーブ | ② イスマーイール |
| | ③ セリム2世 | ④ ムアーウィヤ |

問2 下線部(A)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 26

- ① アラビア半島のメディナ出身の商人である、ムハンマドが創始した。
- ② イスラーム教徒として信じるべきこととおこなうべきことをまとめて、六信五行という。
- ③ 唯一神アッラーを信仰する一神教である。
- ④ ヒジュラ（聖遷）の年を紀元元年とするイスラーム暦は太陰暦である。

問3 下線部(B)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 27

- ① 「世界の半分」とたたえられた都には、青を基調とした美しいモスクや庭園などが築かれた。
- ② 第4代君主のウルグ＝ベクにより建設された天文台を中心に、天文学や暦法が発達した。
- ③ 「知恵の館」（バイト＝アルヒクマ）で、各地の文献が組織的に翻訳された。
- ④ この時代にマルコ＝ポーロが都を訪れ、その見聞をまとめた『世界の記述（東方見聞録）』は、アジアの文化や富に対するヨーロッパ人の関心を高めた。

問4 下線部(C)に関して、その最初の王朝を次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 28

- ① ヴァルダナ朝
- ② カラハン朝
- ③ 奴隸王朝
- ④ ブワイフ朝

問5 下線部(D)に関して、その都を次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。

29

- ① イエルサレム
- ② イスタンブル
- ③ カイロ
- ④ グラナダ

問6 下線部(E)に関する記述として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 30

- ① 海路で義浄が訪れ、『南海寄帰内法伝』を著してこの文化を中国に伝えた。
- ② 宮廷詩人のカーリダーサが戯曲『シャクンタラー』をつくった。
- ③ 公用語であるアラビア語とインドの地方語とが融合したスワヒリ語がうまれた。
- ④ シャー＝ジャハーンは、妃の墓廟として壮大なタージ＝マハルを建築した。

問7 下線部(F)を創始した人物を次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。

31

- ① ヴァルダマーナ
- ② ウマル＝ハイヤーム
- ③ ナーナク
- ④ フィルドゥシー

Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問(問1～問12)に答えなさい。

1914年6月にボスニアの州都サラエヴォでオーストリア帝位継承者夫妻が暗殺されると、オーストリアはドイツの支持を得て7月にセルビアに宣戦した。するとロシアはセルビア支援を表明し、ドイツ・オーストリアなどの同盟国側とフランス・ロシア・イギリス・日本などの協商国(連合国)側にわかれて戦った(第一次世界大戦)。

1918年8月からの連合国軍の攻勢で、同盟国側のブルガリア・オスマン帝国が降伏し、オーストリアが休戦協定を結ぶと、ドイツでは即時講和を求める蜂起をきっかけに全国に革命運動が広がり、ドイツは共和国になった。ドイツ共和国政府は11月に連合国と休戦協定を結び、大戦は終わる。

1919年1月、連合国代表はパリで講和会議を開いた。その基礎となる講和の原則、(A)十四カ条は、アメリカ合衆国が1918年1月に発表したものであった。しかしこれは部分的にしか実現しなかった。

1919年6月パリ郊外のヴェルサイユ宮殿で、まずドイツとの(B)ヴェルサイユ条約が調印された。そして(C)オーストリア・ハンガリーなどそれ以外の旧同盟国との講和条約は、それぞれ別個に結ばれた。

また、ヴェルサイユ条約で(D)国際連盟の設置も決められた。パリ講和会議で決定したヨーロッパの国際秩序はヴェルサイユ体制と呼ばれる。他方、1921～22年にアメリカ合衆国の提唱で、アメリカ合衆国・イギリス・フランス・日本など9カ国が参加したワシントン会議が開かれた。これによるアジア・太平洋地域の国際秩序は(E)ワシントン体制と呼ばれる。これら両体制が1920年代の国際秩序の柱となったが、(F)戦後も国境画定や講和条件に反発する国際紛争が続発することになる。しかし、1924年以降いくつかの条約が結ばれ、国際協調や軍縮の機運の広がりもみえた。

パリ講和会議の十四カ条には、自由主義経済陣営側の、第一次世界大戦下に進行したロシア革命の社会主義に対抗する意図があった。開戦以来、ロシア軍は敗北をかさね、国民の間で戦争継続への不満などからデモやストライキが各地でおき、(G)臨時政府が樹立された(ロシア二月革命)。一方、労働者・兵士が組織したソヴィエトも存続し、二重権力状態が続いた。その後、ボリシェヴィキの指導者レーニンやトロツキーらは政府を倒し、全ロシア＝ソヴィエト会議で新政権成立を宣言した(十月革命)。そしてソヴィエト政権はドイツと休戦した。ボリシェヴィキは共産党と改称され、1918年後半には(H)ソヴィエト体制は事実上ボリシェヴィキの一党支配になった。レーニンは、社会主義の成功には資本主義国を含む、世界革命が不可欠と考え、1919年3月、モスクワでコミンテルン(共産主義者インターナショナル)を創設するが、他国での革命は中国を除き失敗に終わった。また革命の拡大をおそれる連合国は、ロシア各地に樹立した反革命政権を援助したり、シベリアなどに軍を派遣して、対ソ干渉戦争をはじめた。ソヴィエト政府は赤軍を組織し反革命運動をとり締まる一方、戦時共産主義を実施した。1920年には反革命政権も鎮圧され、外国軍も撤退をはじめた。

第一次世界大戦は(I)日本にとってあらたな海外侵略の機会となった。また、大戦後(J)欧州各国では経済的に厳しい時期がおとずれ、対照的に(K)アメリカ合衆国は繁栄の時期を迎えた。

問1 下線部(A)を発表したアメリカ合衆国の大統領として正しい人物を次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 32

- ① ウィルソン
- ② クーリッジ
- ③ ハーディング
- ④ フーヴァー

問2 下線部(A)に関して、その内容に含まれるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 33

- ① 関税障壁の相互強化
- ② 自決権の全民族への適用
- ③ 全植民地の放棄
- ④ 秘密外交の廃止

問3 下線部(B)に関して、ドイツに課せられたものとして誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 34

- ① アルザス・ロレーヌのフランスへの返還
- ② 巨額の賠償金の支払い
- ③ 軍備の全廃
- ④ ラインラントの非武装化

問4 下線部(C)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 35

- ① 旧オーストリア＝ハンガリー帝国からチェコスロヴァキアが独立した。
- ② 旧オーストリア＝ハンガリー帝国からフィンランドが独立した。
- ③ 旧オスマン帝国領のアラビア半島ではイブン＝サウドが独立した。
- ④ 旧オスマン帝国領のパレスチナはイギリスの委任統治下におかれた。

問5 下線部(D)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 **36**

- ① アメリカ合衆国は参加した。
- ② 国際労働機関と常設国際司法裁判所が付置された。
- ③ スイスのジュネーヴに本部をおいた。
- ④ ドイツは排除された。

問6 下線部(E)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 **37**

- ① アメリカ合衆国・イギリス・日本・フランス・イタリアの5国間で海軍軍備制限条約が結ばれた。
- ② 太平洋諸島の現状維持を求めたアメリカ合衆国・イギリス・フランス・日本の四カ国条約が結ばれた。
- ③ 中国の主権尊重・領土保全を約束した九カ国条約が結ばれた。
- ④ 日本とイギリスの間で日英同盟が締結された。

問7 下線部(F)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 **38**

- ① イタリアはユーゴスラヴィアと国境紛争をおこし、フィウメを獲得した。
- ② ドイツはフランスとの紛争地であるルールを占領した。
- ③ トルコはギリシアと戦って領土の一部を回復した。
- ④ ポーランドはソヴィエト＝ロシアに侵攻しベラルーシとウクライナの一部を獲得した。

問8 下線部(G)に関して、このとき退位した人物を次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 **39**

- ① アレクサンドル1世
- ② エカチェリーナ2世
- ③ ニコライ2世
- ④ ピョートル1世

問9 下線部(H)に関して、そのもとでおこなわれたことを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 40

- ① 工業・銀行・貿易の自由化や市場の拡大
- ② 地主からの土地の無償没収と農民への分配
- ③ 中小企業の私的営業の許可
- ④ 余剰農産物の自由販売の許可

問10 下線部(I)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 41

- ① 中国内のドイツの租借地であった膠州湾を占領した。
- ② 中国に対して山東のドイツ利権の継承など二十一カ条の要求をつきつけた。
- ③ 中国の遼東半島を下関条約で獲得した。
- ④ 列強のシベリア出兵(対ソ干渉戦争)に加わった。

問11 下線部(J)に関して、この時期におこなわれたことを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 42

- ① イギリスでは1918年の第4回選挙法改正で、18歳以上の男女に選挙権が拡大された。
- ② イタリアではムッソリーニの率いるファシスト党が勢力を拡大し、複数政党制を確立した。
- ③ ソ連ではレーニンなきあと、トロツキーのもとで社会主義建設が指示され、第1次五カ年計画が実行された。
- ④ ドイツでは首相シュトレゼマンがレンテンマルクを発行してインフレーションを克服した。

問12 下線部(K)に関する記述として誤りであるものを次の①～④のうちから1つ選び、その番号をマークしなさい。 43

- ① 自動車や家庭電化製品の普及により大量生産・大量消費社会が形成された。
- ② 1921年から12年間にわたって共和党政権が続き、自由放任政策がとられた。
- ③ 大戦中に連合国に借款(戦債)を提供したため、戦後は債務国から債権国に転じた。
- ④ 労働者不足への対応から、1924年の移民法改正で、移民の認定が緩やかになった。